

## (2) 教育職員 免許状の 取得について

「比治山大学教職課程に関する規程」に基づき、本学で取得できる教育職員免許状および免許教科の種類は、次のとおりです。

免許状の種類	免許教科	免許状授与の所要資格を取得させるための課程を置く学部・学科・コース
中学校教諭一種免許状	国語	現代文化学部
高等学校教諭一種免許状	国語	言語文化学科日本語文化コース
中学校教諭一種免許状	英語	現代文化学部
高等学校教諭一種免許状	英語	言語文化学科国際コミュニケーションコース
幼稚園教諭一種免許状		現代文化学部 子ども発達教育学科
小学校教諭一種免許状		
栄養教諭一種免許状		健康栄養学部 管理栄養学科

### ① 中学校・高等学校教諭 一種免許状 (国語) (英語)

言語文化学科 日本語文化コース(中・高等学校教諭一種免許状(国語))

言語文化学科 国際コミュニケーションコース(中・高等学校教諭一種免許状(英語))

免許状授与の所要資格を得るためには、次表に掲げる基礎資格および単位修得が条件となります。

免許状の種類	所要資格	基礎資格	現代文化学部において 修得することを必要とする 授業科目の単位数	
			共通教育科目	教科及び教職に 関する科目
中学校教諭一種免許状(国語)	学士の 学位を 有する こと	9		59
高等学校教諭一種免許状(国語)				59
中学校教諭一種免許状(英語)				60
高等学校教諭一種免許状(英語)				59

中学校教諭一種免許状の取得希望者は、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、合計7日間の「介護等体験」を行わなければなりません。

### 共通教育科目 及び単位数

免許法施行規則に 定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講 セメスター
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○日本国憲法	2	1
体育	2	○スポーツA	1	1
		○ウエルネス論	2	2
外国語 コミュニ ケーション	2	○英語リテラシー	1	1
		英語 I	1	2
		英語基礎 I	1	2
		英会話 I	1	1
情報機器の操作	2	○情報リテラシー	1	1
		情報処理演習 A	1	2
		情報処理演習 B	1	2
		情報処理演習 C	1	3
		最低修得単位数	9	

(備考)○印は教職必修科目

教科及び教職に関する科目及び単位数

言語文化学科 日本語文化コース(中・高等学校教諭一種免許状(国語))

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学入門		2	1	○は、一般的包括的内容を含む科目
			日本語概論 ○	2		2	
			日本語研究Ⅰ		2	3	
			日本語研究Ⅱ		2	4	
			日本語の歴史		2	5	
			日本語表現法Ⅰ	2		3	
			日本語表現法Ⅱ		2	4	
			日本語表現研究		2	6	
	国文学(国文学史を含む。)	日本文学入門		2	1		
		日本文学概論 ○	2		2		
		日本文学研究Ⅰ		2	3		
		日本文学研究Ⅱ		2	4		
		日本文学の歴史 ○	2		5		
		日本ファンタジー論		2	7		
漢文学	漢文学 ○	2		5			
	書道Ⅰ ○	2		3			
書道(書写を中心とする。)	書道Ⅱ	2		4			
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	中8 高4	国語科教育法Ⅰ	2		4	
		国語科教育法Ⅱ	2		5		
		国語科教育法Ⅲ	2		6		
		国語科教育法Ⅳ	2		7		
中一種免 計		28	中一種免 必要単位数		28	教科に関する専門的事項の選択科目から2単位選択必修	
高一種免 計		24	高一種免 必要単位数		24		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		5	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		3	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	1		3	

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等	
				必	選			
生徒指導 道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と方法	2		6	中一種免のみ必修ただし、高一種免取得希望者が修得した場合は、大学が独自に設定する科目に必要な単位として算入する	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		5		
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		5		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術	2		5		
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		5		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		—	—	—	—		
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習指導	1		6	中一種免のみ必修	
			教育実習Ⅰ	2		7・8		
			教育実習Ⅱ		2	7・8		
	学校体験活動	—	—	—				
教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2		8			
中一種免 計		27	中一種免 必要単位数		27			
高一種免 計		23	高一種免 必要単位数		23			
大学が独自に設定する科目	—	中4 高12	介護等体験指導	1		5・6	中一種免のみ開設し、必修  大学が独自に設定する科目として算入できる単位  中一種免 ①28単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②大学が独自に設定する科目 ①②の中から4単位以上とする  高一種免 ①24単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②23単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から12単位以上とする	
			学校支援ボランティア		1	1~8		
中一種免 総計		59	中一種免 必要単位数		59			
高一種免 総計		59	高一種免 必要単位数		59			

教科及び教職に関する科目及び単位数

言語文化学科 国際コミュニケーションコース(中・高等学校教諭一種免許状(英語))

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		履修方法等	
				必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	各科目1単位以上	英語学概論 ○	2		2	○は、一般的包括的内容を含む科目
			英語の歴史 ○	2		4	
	対照言語学			2	4		
	英語文学		米文学概論 ○	2		2	
			英文学概論 ○	2		3	
			英米児童文学		2	6	
	英語コミュニケーション		英語コミュニケーションⅠ ○	2		3	
			英語コミュニケーションⅡ ○	2		4	
			Presentation Skills ○	2		5	
			Multimedia Communication ○	2		6	
異文化理解	ベーシックコミュニケーションスキルⅠ ○	2		1			
	日英比較文化 ○	2		2			
	異文化理解実践研究 ○	2		3			
	異文化間コミュニケーションⅠ		2	1・2			
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	異文化間コミュニケーションⅡ		2	1・2			
	異文化間コミュニケーションⅢ		2	3・4			
	英語科教育法Ⅰ	2		3			
	英語科教育法Ⅱ	2		4			
中一種免 計	中8高4	英語科教育法Ⅲ	2		5		
		英語科教育法Ⅳ	2		6		
高一種免 計	24	第二言語習得概論Ⅰ		2	3		
		第二言語習得概論Ⅱ		2	4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		5	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		3	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	1		3	

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等	
				必	選			
生徒指導、 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び 教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と方法	2		6	中一種免のみ必修 ただし、高一種免 取得希望者が修得 した場合は、大学 が独自に設定する 科目に必要な単位 として算入する	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		5		
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		5		
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術	2		5		
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		5		進路指導及びキャ リア教育の理論及 び方法を含む
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		—	—	—	—		
教育実践に 関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習指導	1		6	中一種免のみ必修	
			教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	2		7・8		
	学校体験活動	—	—	—				
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2		8		
中一種免 計		27	中一種免 必要単位数		27			
高一種免 計		23	高一種免 必要単位数		23			
大学が独自に設定する科目	—	中4 高12	英語教授法	2		5	中一種免のみ開設 し、必修	
			介護等体験指導 学校支援ボランティア	1		5・6 1～8		
			大学が独自に設定する科目 として算入できる 単位  中一種免 ①28単位を超えて修得 した「教科及び教科の 指導法に関する科目」 ②大学が独自に設定す る科目 ①②の中から4単位以 上とする  高一種免 ①24単位を超えて修得 した「教科及び教科の 指導法に関する科目」 ②23単位を超えて修得 した「教育の基礎的理 解に関する科目」から 「教育実践に関する科 目」 ③大学が独自に設定す る科目 ①②③の中から12単位 以上とする					
中一種免 総計		59	中一種免 必要単位数		60			
高一種免 総計		59	高一種免 必要単位数		59			

教科及び教職に関する科目についての履修条件は以下の通りです。

(1) 各教科教育法の履修条件について

- ① 各教科教育法Ⅱは、各教科教育法Ⅰの単位の修得が必要です。
- ② 各教科教育法Ⅲは、各教科教育法Ⅱの単位の修得が必要です。
- ③ 各教科教育法Ⅳは、各教科教育法Ⅲの単位の修得が必要です。

(2) 「教育実習指導」、「教育実習Ⅰ」、「教育実習Ⅱ」の履修条件について

- ① 「教育実習指導」の履修は、「教職入門」、「教育基礎論」、「教育相談(カウンセリングを含む.)」、国語は「国語科教育法Ⅱ」、英語は「英語科教育法Ⅲ」のすべての単位の修得が必要です。
- ② 「教育実習Ⅰ」、「教育実習Ⅱ」の履修は、「教育実習指導」の単位修得と、国語は「国語科教育法Ⅲ」、英語は「英語科教育法Ⅳ」の単位修得が必要です。
- ③ 国語は「教育実習Ⅰ」、「教育実習Ⅱ」の履修登録と合わせて、「国語科教育法Ⅳ」の履修が必要です。

(3) 「教職実践演習(中・高)」の履修条件について

- ① 「教育実習Ⅰ」、「教育実習Ⅱ」(高等学校教諭一種免許状のみ取得者にあつては「教育実習Ⅰ」)の単位を修得、または修得見込みであること(過年度生も同様)。
- ② 教科及び教職に関する科目のうち、「教職実践演習(中・高)」を除くすべての当該免許状取得に必要な単位を修得していること、または履修中であること。
- ③ 国語は「国語科教育法Ⅳ」、英語は「英語科教育法Ⅳ」の単位を修得していること。
- ④ 1年次に購入した履修カルテに、4年間通して記入していること。

(4) 履修カルテについて

- ① 教員免許状取得に必要です。
- ② 「教職入門」(1年前期)で各自履修カルテを購入し、4年間を通して保管し記入してください。

(5) その他

編入生については、別途履修指導を行います。

② 幼稚園・小学校  
教諭一種免許状

子ども発達教育学科(幼稚園教諭一種免許状, 小学校教諭一種免許状)

免許状授与の所要資格を得るためには、次表に掲げる基礎資格および単位修得が条件となります。

免許状の種類	所要資格	基礎資格	現代文化学部において 修得することを必要とする 授業科目の単位数	
			共通教育科目	教科及び教職に 関する科目
幼稚園教諭一種免許状	学士の 学位を 有する こと	9	51(※)	
小学校教諭一種免許状			59	

※ただし、教育実習Ⅰ(小学校)、教育実習Ⅱ(小学校)を修得する場合は53単位。

小学校教諭一種免許状の取得希望者は、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、合計7日間の「介護等体験」を行わなければなりません。保育士資格の取得希望者で「保育実習Ⅰ(保育所・施設)」を履修し、施設実習を行った場合、「社会福祉施設での5日間の介護等体験」に充当することができます。小学校教諭一種免許状申請の際は、実習施設での証明書が必要となります。

実習する施設および申請に必要な証明書については、保育実習の前に担当者から説明があります。

共通教育科目  
及び単位数

免許法施行規則に 定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講 セメスター
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○日本国憲法	2	4
体育	2	○スポーツA	1	2
		○ウエルネス論	2	4
外国語 コミュニ ケーション	2	○英語リテラシー	1	1
		英語Ⅰ	1	2
		英語基礎Ⅰ	1	2
		英会話Ⅰ	1	1
情報機器の操作	2	○情報リテラシー	1	1
		情報処理演習A	1	2
		情報処理演習B	1	2
		情報処理演習C	1	3
最低修得単位数			9	

(備考)○印は教職必修科目

教科及び教職に関する科目及び単位数

子ども発達教育学科(幼稚園教諭一種免許状)

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	16	国語 I		2	1	
			国語 II		2	3	
			算数 I		2	2	
			算数 II		2	3	
			生活 I		2	1	
			生活 II		2	3	
	音楽 I		1		1		
	音楽 II		1		2		
	図画工作 I		1		3		
	図画工作 II		1		4		
	体育 I		1		1		
体育 II	1		2				
保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育指導法(健康)	2		3			
	保育指導法(人間関係)	2		6			
	保育指導法(環境)	2		6			
	保育指導法(言葉)	2		5			
	保育指導法(表現 I)	2		4			
	保育指導法(表現 II)	2		5			
計		16	必要単位数	18			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		保育者論	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 保育の心理学	2	2	4 2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	2		6	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		幼児教育課程論 保育内容総論	2 2		4 1	
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導・教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育の方法と技術	2		4	
	幼児理解の理論及び方法		子ども理解の理論と方法	2		3	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		子どもの発達と教育相談	2		5	

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1		3・4	a a又はbを選択必修 b
			a教育実習Ⅰ(小学校)		2	6	
			a教育実習Ⅱ(小学校)		2	6	
			教育実習Ⅲ(幼稚園)	2		5	
	学校体験活動		—	—	—		
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2		8	
計		21	必要単位数	27			
大学が独自に設定する科目	—	14	環境教育論		2	3	大学が独自に設定する科目として算入できる単位 ①16単位を超えて修得した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」 ②21単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から14単位以上とする
			—				
総計		51	必要単位数	51			

「教育実習Ⅲ(幼稚園)」および「教育実習Ⅳ(幼稚園)」の履修登録を行う(実習に参加する)ための条件について

「教育実習指導」の履修資格

「教職入門」または「保育者論」のいずれかの単位修得が必要条件です。「教育基礎論」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅲ(幼稚園)」の履修資格

①「保育者論」および「教育実習指導」の単位修得が必要条件です。

②「保育内容総論」, 「子ども理解の理論と方法」, 「幼児教育課程論」の単位修得, もしくは履修登録をし, 単位修得見込みであることが必要条件です。

「教育実習Ⅳ(幼稚園)」の履修資格

「教育実習指導」および「保育内容総論」, 「子ども理解の理論と方法」, 「幼児教育課程論」, 「保育実践研究」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅰ(小学校)」および「教育実習Ⅱ(小学校)」の履修登録を行う(実習に参加する)ための条件について

「教育実習指導」の履修資格

「教職入門」または「保育者論」のいずれかの単位修得が必要条件です。「教育基礎論」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅰ(小学校)」および「教育実習Ⅱ(小学校)」の履修資格

「教職入門」, 「教育実習指導」, 「教育心理学」, 「教育の方法と技術」, 「国語Ⅰ」, 「社会Ⅰ」, 「算数Ⅰ」, 「理科Ⅰ」, 「生活Ⅰ」, 「国語科教育法」, 「算数科教育法」, 「音楽科教育法」, 「社会科教育法」, 「図画工作科教育法」, 「家庭科教育法」, 「生活科教育法」, 「体育科教育法」, 「理科教育法」, 「初等英語科教育法」, 「教科授業研究A」, 「教科授業研究B」, 「教科授業研究C」の単位修得が必要条件です。

「保育・教職実践演習(幼・小)」の履修登録を行うための条件について

①「保育・教職実践演習(幼・小)」を除くすべての当該免許状取得に必要な単位を修得していること, もしくは履修登録をし, 単位修得見込みであること。

② 1年次で購入した履修カルテを4年間を通して記入し, 作成すること。

教科及び教職に関する科目及び単位数

子ども発達教育学科(小学校教諭一種免許状)

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	国語 I	2		1	
			国語 II		2	3	
			社会 I	2		2	
			社会 II		2	3	
			算数 I	2		2	
			算数 II		2	3	
			理科 I	2		2	
			理科 II		2	3	
			理科実験 I		1	4	
			理科実験 II		1	5	
	生活 I		2	1			
	生活 II		2	3			
	音楽 I		1	1			
	音楽 II		1	2			
	図画工作 I		1	3			
	図画工作 II		1	4			
	家庭		2	3			
	体育 I		1	1			
	体育 II		1	2			
	外国語		2	3			
			2	4			
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	30	国語(書写を含む。)	2		3		
		社会	2		4		
		算数	2		3		
		理科	2		5		
		生活	2		5		
		音楽	2		3		
		図画工作	2		4		
		家庭	2		4		
		体育	2		5		
		外国語	2		5		
計	30	必要単位数	30				

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 保育の心理学	2	2	4 2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	2		6	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	1		5	
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 生徒指導 教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と方法	2		4	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		5	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		5	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術	2		4	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		6	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		子どもの発達と教育相談	2		5	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		-	-	-	-	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1		3・4	
			教育実習Ⅰ(小学校)	2		6	
			教育実習Ⅱ(小学校)	2		6	
			教育実習Ⅲ(幼稚園)		2	5	
教育実習Ⅳ(幼稚園)				2	7		
学校体験活動			-	-	-		
教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2		8		
計		27	必要単位数	28			

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
大学が独自に設定する科目	-	2	環境教育論		2	3	大学が独自に設定する科目として算入できる単位 ①30単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②27単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から2単位以上とする
			現代教育政策概論		2	6	
			学校支援ボランティア		1	1~8	
総計		59	必要単位数		59		

「教育実習Ⅰ(小学校)」および「教育実習Ⅱ(小学校)」の履修登録を行う(実習に参加する)ための条件について

「教育実習指導」の履修資格

「教職入門」または「保育者論」のいずれかの単位修得が必要条件です。「教育基礎論」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅰ(小学校)」および「教育実習Ⅱ(小学校)」の履修資格

「教職入門」, 「教育実習指導」, 「教育心理学」, 「教育の方法と技術」, 「国語Ⅰ」, 「社会Ⅰ」, 「算数Ⅰ」, 「理科Ⅰ」, 「生活Ⅰ」, 「国語科教育法」, 「算数科教育法」, 「音楽科教育法」, 「社会科教育法」, 「図画工作科教育法」, 「家庭科教育法」, 「生活科教育法」, 「体育科教育法」, 「理科教育法」, 「初等英語科教育法」, 「教科授業研究A」, 「教科授業研究B」, 「教科授業研究C」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅲ(幼稚園)」および「教育実習Ⅳ(幼稚園)」の履修登録を行う(実習に参加する)ための条件について

「教育実習指導」の履修資格

「教職入門」または「保育者論」のいずれかの単位修得が必要条件です。「教育基礎論」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅲ(幼稚園)」の履修資格

- ①「保育者論」および「教育実習指導」の単位修得が必要条件です。
- ②「保育内容総論」, 「子ども理解の理論と方法」, 「幼児教育課程論」の単位修得, もしくは履修登録をし, 単位修得見込みであることが必要条件です。

「教育実習Ⅳ(幼稚園)」の履修資格

「教育実習指導」および「保育内容総論」, 「子ども理解の理論と方法」, 「幼児教育課程論」, 「保育実践研究」の単位修得が必要条件です。

「保育・教職実践演習(幼・小)」の履修登録を行うための条件について

- ①「保育・教職実践演習(幼・小)」を除くすべての当該免許状取得に必要な単位を修得していること, もしくは履修登録をし, 単位修得見込みであること。
- ②1年次で購入した履修カルテを4年間を通して記入し, 作成すること。

### ③ 栄養教諭 一種免許状

#### 健康栄養学部 管理栄養学科(栄養教諭一種免許状)

栄養教諭は、子どもの望ましい食習慣の形成を促すために、「食に関する指導」と「学校給食の管理」を一体的に行い、クラス担任・教科担当の先生と連携して「学校における食育」を職務とします。

免許状授与の所要資格を得るためには、次表に掲げる基礎資格および単位修得が条件となります。

免許状の種類	基礎資格	健康栄養学部において修得することを必要とする授業科目の単位数	
		共通教育科目	栄養に係る教育に関する科目及び教職に関する科目
栄養教諭一種免許状	学士の学位を有すること、かつ管理栄養士の免許を受けていること又は管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること	9	28

### 共通教育科目 及び単位数

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講 セメスター
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	4
体育	2	○ スポーツA	1	1
		○ ウエルネス論	2	1
外国語 コミュニケーション	2	○ 英語リテラシー	1	1
		英語 I	1	2
		英語基礎 I	1	2
		英会話 I	1	2
情報機器の操作	2	○ コンピュータリテラシー	1	1
		情報処理演習A	1	2
		情報処理演習B	1	2
		情報処理演習C	1	3
最低修得単位数			9	

(備考)○印は教職必修科目

栄養に係る教育に関する科目及び教職に関する科目及び単位数

健康栄養学部 管理栄養学科(栄養教諭一種免許状)

施行規則に定める科目区分等			健康栄養学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	学校栄養教育指導論	2		5	
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項						
	食生活に関する歴史的及び文化的事項						
	食に関する指導の方法に関する事項		学校栄養教育実践論	2		6	
計		4	必要単位数		4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育基礎論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		5	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		3	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	1		3	
生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育の理論と方法	2		6	
			総合的な学習の時間の指導法	1		5	
			特別活動の指導法	1		5	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術	2		5	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	2		5	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3	
関する科目	栄養教育実習	2	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	2		7・8	
	教職実践演習	2	教職実践演習(栄養教諭)	2		8	
計		18	必要単位数		24		
総計		22	必要単位数		28		

#### 「栄養教育実習(事前事後指導を含む)」の履修について

次に掲げる要件を満たす者に限り、「栄養教育実習(事前事後指導を含む)」を受講できます。その審査は「栄養教育実習委員会」が行います。

- ① 将来栄養教諭の職に就こうとする意欲や希望を有すること。
- ② 栄養教育実習の心得や栄養教諭業務等を学び、さらに事前準備や事後学習することにより栄養教育学習の成果を上げるため、7セメスターまでの管理栄養士の資格科目、教職科目(栄養教諭)並びに管理栄養士に係る共通教育科目を修得済み、または履修見込みであること。
- ③ 成績評価において、5セメスターまでに開講する「栄養教諭養成領域」科目は原則として全て「良」以上であること。

栄養教育実習の実習期間は1週間です。なお、栄養教諭一種免許状を取得するには、臨地実習の実習期間4週間と合わせて5週間となります。

#### 「教職実践演習(栄養教諭)」の履修について

「教職実践演習(栄養教諭)」の履修は、「栄養教育実習(事前事後指導を含む)」の単位修得見込みであること、および栄養に係る教育及び教職に関する科目のうち「教職実践演習(栄養教諭)」を除くすべての単位を修得または履修中であることを条件とします。各自、記録・保管の「履修カルテ」がないと履修できません。

#### 「履修カルテ」について

- 教員免許状取得に必要です。
- 「教職入門」(1年次前期)で各自履修カルテを購入し、4年間を通して保管作成して下さい。

## (6) 中学校・高等学校教諭専修免許状(国語／英語)の取得について

現代文化専攻(「情報メディア研究」を主として専攻する者は対象外)において、既に中学校・高等学校教諭一種免許状(国語/英語)を取得している人は、次の2コースのどちらかを選択することにより中学校・高等学校教諭専修免許状(国語/英語)を取得することができます。

### ○修士(専修)コース(修士の学位授与を希望する人)

該当する研究分野等で30単位以上修得し、修士論文等を提出し合格すると、修士の学位が授与されるとともに専修免許状を取得することができます。

### ○教職(専修)コース(修士の学位授与を希望しない人)

該当する「教科に関する科目及び教職に関する科目」から30単位以上修得すると、教職課程修了証が授与され専修免許状を取得することができます。ただし、修士の学位は取得できません。教職課程修了証は手数料を添えて申請してください。

取得のための必要条件や指定科目については、「比治山大学大学院教職課程に関する規程」を参照してください。

### 取得可能な免許に関わる費用

資格	申請費用
中学校教諭専修免許状(国語)	3,400円
中学校教諭専修免許状(英語)	3,400円
高等学校教諭専修免許状(国語)	3,400円
高等学校教諭専修免許状(英語)	3,400円

上記は、2019年1月現在の金額です。

- 2 前項の規定にかかわらず、修士の学位論文又は特定の課題についての研究成果を提出しない者は、一種免許状(国語・英語)授与の所要資格に加え、現代文化専攻に1年以上在学し、該当コースの別表(1)又は(2)に記載の科目の中から30単位以上修得しなければならない。
- 3 前項に係る単位を修得した者には、教職課程修了証(別記様式)を授与する。

(授業科目)

**第4条** 前条で規定する授業科目は、別表に掲げるとおりとする。

**別表(第4条関係)**

(1) 現代文化研究科現代文化専攻(国語コース)

免許状	施行規則に定める科目区分等		本学における授業科目及び単位数			
	科目区分	最低修得単位数	授業科目	単位数		履修方法等
				必	選	
高等学校教諭専修免許状(国語) 高等学校教諭専修免許状(国語)	大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	日本語特講Ⅰ(現代日本語論)		2	選択科目より 24単位 選択必修
			日本語特講Ⅱ(現代日本語論)		2	
			日本語特講Ⅲ(日本語史論)		2	
			日本語特講Ⅳ(日本語史論)		2	
			日本文学特講Ⅰ(古代文学論)		2	
			日本文学特講Ⅱ(古代文学論)		2	
			日本文学特講Ⅲ(中世文学論)		2	
			日本文学特講Ⅳ(中世文学論)		2	
			日本文学特講Ⅴ(近代文学論)		2	
			日本文学特講Ⅵ(近代文学論)		2	
			日本文学特講Ⅶ(現代文学論)		2	
			日本文学特講Ⅷ(現代文学論)		2	
			日本文学特講Ⅸ(文学理論)		2	
			日本文学特講Ⅹ(文学理論)		2	
			国語科教育特講Ⅰ		2	
国語科教育特講Ⅱ		2				
国語科教育特講Ⅲ		2				

(2) 現代文化研究科現代文化専攻(英語コース)

免許状	施行規則に定める科目区分等		本学における授業科目及び単位数			
	科目区分	最低修得単位数	授業科目	単位数		履修方法等
				必	選	
高等学校教諭専修免許状(英語) 高等学校教諭専修免許状(英語)	大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	言語学特講Ⅰ(言語科学)		2	選択科目より 24単位 選択必修
			言語学特講Ⅱ(言語科学)		2	
			言語学特講Ⅲ(応用言語学)		2	
			言語学特講Ⅳ(応用言語学)		2	
			言語学特講Ⅴ(対照言語学)		2	
			言語学特講Ⅵ(対照言語学)		2	
			言語学特講Ⅶ(英語学)		2	
			言語学特講Ⅷ(英語学)		2	
			欧米文学特講Ⅰ(近代イギリス文学)		2	
			欧米文学特講Ⅱ(近代イギリス文学)		2	
			欧米文学特講Ⅲ(現代アメリカ文学)		2	
			欧米文学特講Ⅳ(現代アメリカ文学)		2	
			英語教育学特講Ⅰ		2	
			英語教育学特講Ⅱ		2	
			英語教育学特講Ⅲ		2	

(1) 比治山大学  
短期大学部で  
取得できる  
免許・資格

本学においては、次のような免許・資格等が取得できます。詳しい内容については、それぞれの該当の箇所をよく読んで履修してください。

各学科で取得できる免許・資格等は次のとおりです。

学科	幼児 教育科	総合生活 デザイン 学科	美術科
免許・資格等			
中学校教諭二種免許状(家庭)		○	
中学校教諭二種免許状(美術)			○
幼稚園教諭二種免許状	○		
保育士資格(保育士証)	○		
秘書士 <sup>®</sup> 資格認定証		○	
上級秘書士 <sup>®</sup> 資格認定証		○	
ビジネス実務士 <sup>®</sup> 資格認定証		○	
観光ビジネス実務士資格認定証		○	
フードコーディネーター3級		○	

免許・資格等取得に関わる費用

資 格	実習・その他	申請費用
中学校教諭二種免許状(家庭)	14,750円	3,400円
中学校教諭二種免許状(美術)	14,750円	3,400円
幼稚園教諭二種免許状	13,000円	3,400円
保育士資格(保育士証)	32,500円	4,200円
秘書士 <sup>®</sup> 資格認定証	—	5,000円
上級秘書士 <sup>®</sup> 資格認定証	—	7,000円
ビジネス実務士 <sup>®</sup> 資格認定証	—	5,000円
観光ビジネス実務士資格認定証	—	7,000円
フードコーディネーター3級	—	6,000円

上記は、2019年1月現在の金額です。それぞれの協会等の都合により変動の可能性があります。掲示または配付物等で確認してください。また、中学校実習は実習校により実習費は変動します。

(2) 教育職員  
免許状の  
取得について

総合生活デザイン学科・美術科の学生が、中学校教諭二種免許状(それぞれの教科は「家庭」「美術」)を取得するには、基礎資格(短期大学士の学位)を有し、また共通教育科目、教科及び教職に関する科目について所定の単位(最低修得単位)を修得しなければなりません。

① 中学校教諭  
二種免許状  
(家庭)(美術)

免許状の種類	所要資格	基礎資格	
		共通教育科目	本学において修得することを必要とする授業科目の単位数 教科及び教職に関する科目
中学校教諭二種免許状(家庭)	短期大学士の学位を有すること	9	44
中学校教諭二種免許状(美術)			44

中学校教諭二種免許状の取得希望者は、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、合計7日間の「介護等体験」を行わなければなりません。

共通教育科目  
及び単位数

次表に示す科目毎に必要な単位数以上を履修してください。

免許法施行規則 に定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講時期			
				1年次		2年次	
		授業科目名	単位数	前期	後期	前期	後期
日本国憲法	2	◎ 日本国憲法	2		○		
体育	2	◎ スポーツA	1	○			
		◎ ウエルネス論	2		○		
外国語コミュニケーション	2	◎ 英語リテラシー	1	○			
		○ 英語 I	1		○		
		○ 英語基礎 I	1		○		
		○ 英会話 I	1	○			
情報機器の操作	2	◎ 情報リテラシー	1	○			
		◎ 文書デザイン演習	1	総生	美		
		合計	9				

◎は教職必修科目 ○の中から1科目1単位以上履修すること。

(注) 共通教育科目については、比治山ベーシック科目の7単位以上、および教養科目の4単位以上、合計12単位以上を修得してください。詳細については、各学科の「教育課程表」と併せて「卒業要件・資格等欄」で確認してください。

教科及び教職  
に関する科目  
及び単位数

総合生活デザイン学科 中学校教諭二種免許状(家庭)

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数					
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項		最低修得 単位数	授業科目	単位数		履修 方法等	
					必	選		開講 セメスター
教科及び 教科の指 導法に関 する科目	教科に 関する 専門的 事項	家庭経営学(家族関係学及 び家庭経済学を含む。)	各科目 1単位 以上	生活経営学 ○	2		4	○は、一 般的包 括的 内容 を含 む科 目
		被服学(被服製作実習を含 む。)		人間関係論(含家族関係) ○	2		4	
		食物学(栄養学、食品学及 び調理実習を含む。)		衣生活論 ○	2		2	
		住居学		ファッション造形実習 I ○	1		1	
		保育学(実習を含む。)		栄養学 ○	2		2	
				食品学 ○	2		3	
		食生活実習 I ○		1		1		
各教科の指導法(情報機器及び 教材の活用を含む。)	2	家庭科教育法	2		2			
計			12	必要単位数	18			
教育の 基礎的 理解に 関する 科目	教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想		6	教育基礎論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)			教職入門	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)			教育の制度と経営	2		4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程			教育心理学	2		3	
	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	1		2	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)			教育課程総論	1		3	

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	6	道徳教育の理論と方法	1		3	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		2	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		3	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術	1		3	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		4	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		—	—	—		
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1		3・4	
			教育実習Ⅰ	2		3・4	
			教育実習Ⅱ	2		3・4	
	学校体験活動	—	—				
	教職実践演習	2	教職実践演習(中学校)	2		4	
計		19	必要単位数	25			
大学が独自に設定する科目	—	4	介護等体験指導	1		3・4	大学が独自に設定する科目として算入できる単位
			学校支援ボランティア		1	1～4	
—		—					①12単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②19単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から4単位以上とする
総計		35	必要単位数	44			

教科及び教職に関する科目及び単位数

美術科 中学校教諭二種免許状(美術)

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
					必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	絵画(映像メディア表現を含む。)	各科目 1単位 以上	絵画・マンガ ○	2		1	○は、一般的包括的内容を含む科目
				日本画 I		4	3	
				洋画 I		4	3	
		彫刻		立体 ○	1		1	
		デザイン(映像メディア表現を含む。)		デザイン・映像 ○	2		1	
				マンガ・キャラクター I		4	3	
				映像・アニメーション I		4	3	
	グラフィックデザイン I				4	3		
工芸デザイン I			4	3				
	CG演習 I		1	1				
	CG演習 II		1	2				
	工芸		2		1			
	美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)		2		1			
			2		2			
			2	2	1			
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	2	美術科教育法	2		2		
計			12	最低修得単位数	18			教科に関する専門的事項の選択科目から5単位選択必修
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		6	教育基礎論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職入門	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育の制度と経営	2		4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2		3	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	1		2	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程総論	1		3	

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講 semester	履修方法等
				必	選		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	6	道徳教育の理論と方法	1		3	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		2	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		3	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術	1		3	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		4	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		-	-	-		
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1		3・4	
			教育実習Ⅰ	2		3・4	
			教育実習Ⅱ	2		3・4	
	学校体験活動	-	-	-			
	教職実践演習	2	教職実践演習(中学校)	2		4	
計		19	最低修得単位数	25			
大学が独自に設定する科目	-	4	介護等体験指導 学校支援ボランティア	1	1	3・4 1～4	大学が独自に設定する科目として算入できる単位  ①12単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②19単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から4単位以上とする
総計		35	最低修得単位数	44			

- (注) (1) 「教育実習Ⅰ・Ⅱ」を履修するためには、1年次後期までの教科及び教職に関する科目(教科に関する専門的事項を除く)の単位をすべて修得していることが必要です。
- (2) 中学校教諭の普通免許状を授与するための条件として、**介護等の体験**(7日間)が必要です。詳細についてはその都度掲示します。
- (3) 「教職実践演習(中学校)」の履修は、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得見込みであること(過年度生も同様)、および、教科及び教職に関する科目のうち、「教職実践演習(中学校)」を除くすべての単位を修得または履修中であることを条件とします。各自、記録・保管の「履修カルテ」がないと履修できません。
- (4) 「履修カルテ」について  
 ○教員免許取得に必要です。  
 ○「教職入門」(1年前期)で各自履修カルテを購入し、2年間を通して保管作成して下さい。

※教育職員免許状の取得を希望しない者も、教職課程に関連する科目を履修することができます。ただし、「教育実習指導」、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「教職実践演習(中学校)」、「家庭科教育法」、「美術科教育法」、「介護等体験指導」、「学校支援ボランティア」の履修はできません。

## ② 幼稚園教諭 二種免許状

幼児教育科の学生が、幼稚園教諭二種免許状を取得するには、基礎資格(短期大学士の学位)を有し、また共通教育科目、教科及び教職に関する科目について所定の単位(最低修得単位)を修得しなければなりません。

免許状の種類	基礎資格	本学において修得することを必要とする授業科目の単位数	
		共通教育科目	教科及び教職に関する科目
幼稚園教諭二種免許状	短期大学士の学位を有すること	9	38

## 共通教育科目 及び単位数

次表に示す科目毎に必要な単位数以上を修得してください。

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講時期			
		授業科目名	単位数	1年次		2年次	
				前期	後期	前期	後期
日本国憲法	2	◎ 日本国憲法	2	○			
体育	2	◎ スポーツA	1	○			
		◎ ウエルネス論	2		○		
外国語コミュニケーション	2	◎ 英語リテラシー	1	○			
		○ 英語 I	1		○		
		○ 英語基礎 I	1		○		
		○ 英会話 I	1	○			
情報機器の操作	2	◎ 情報リテラシー	1	○			
		◎ 文書デザイン演習	1		○		
		合計	9				

- ◎は教職必修科目
- の中から1科目1単位以上履修すること。

## 教科及び教職 に関する科目 及び単位数

### 幼児教育科 幼稚園教諭二種免許状

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		最低修得単位数	授業科目	単位数		履修方法等
					必	選	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	12	領域健康の基礎	1		1
		人間関係		領域人間関係の基礎	1		2
		環境		領域環境の基礎	1		2
		言葉		領域言葉の基礎	1		1
		表現		領域表現の基礎A	1		1
	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)			領域表現の基礎B	1		1
				領域健康の指導法	1		2
				領域人間関係の指導法	1		3
				領域環境の指導法	1		3
				領域言葉の指導法	1		2
				領域表現の指導法A	1		2
				領域表現の指導法B	1		2
				保育内容(総合表現) I	1		3
				保育内容(総合表現) II	1		4
計		12	必要単位数	14			

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育基礎論	2		1	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)を含む
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		保育者論	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		-	-	-	-	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育(保育)	2		3	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2		2	
等に関する科目 道徳、総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導、 教育相談	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法論	2		3	
	幼児理解の理論及び方法		子ども理解の理論と方法	1		4	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2		3	
教育実践に関する科目	教育実習	5	幼稚園教育実習事前・事後指導	1		2~4	
	幼稚園教育実習		4		2~4		
	学校体験活動	-	-	-			
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	2		4	
計		17	必要単位数	22			
自に設定する科目 大学が独自	-	2	音楽ベーシックⅠ	1		1	
			音楽ベーシックⅡ	1		2	
総計		31	必要単位数	38			

- 「幼稚園教育実習事前・事後指導」及び「幼稚園教育実習」の履修にあたっては、1年前期開講科目のうち  
の教職必修科目である「教育基礎論」、「保育者論」、「領域健康の基礎」、「領域言葉の基礎」、「領域表現の基礎A」、「領域表現の基礎B」、「音楽ベーシックⅠ」の7科目中5科目以上の単位を修得していることを条件とします。
- 「保育・教職実践演習(幼稚園)」の履修は、「幼稚園教育実習事前・事後指導」、「幼稚園教育実習」の単位  
を修得見込みであること(過年度生も同様)及び、教科及び教職に関する科目のうち、「保育・教職実践演習  
(幼稚園)」を除くすべての単位を修得または履修中であることを条件とします。